

本調査報告 調査日・捕獲数・参加人数

調査場所	調査日1			調査日2			調査日3			合計		
麒麟ビール(株) 横浜工場	8/1	39	4	8/2	30	4	8/3	25	4	3日	94頭	12名
JFEエンジニアリング(株) JFE トンボみち	8/6	17	4	8/7	1	5	8/10	19	4	3日	37頭	13名
東芝エネルギーシステムズ(株) 京浜事業所	8/6	5	3	8/7	2	4	8/21	4	4	3日	11頭	11名
(株) JVC ケンウッド	7/30	5	5	7/31	8	3	8/1	9	3	3日	22頭	11名
東京電力フュエル&パワー(株) 横浜火力発電所	7/30	32	6	7/31	50	5	8/1	24	5	3日	106頭	16名
マツダ(株) マツダR&Dセンター横浜	7/30	1	2	7/31	4	3	8/3	1	2	3日	6頭	7名
国土交通省横浜港湾空港技術調査事務所	8/1	0	4	8/2	5	3	8/3	3	3	3日	8頭	10名
横浜市北部第二水再生センター	8/6	11	3	8/7	0	2	8/15	19	4	3日	30頭	9名
横浜サイエンスフロンティア高校	7/30	14	11	7/31	17	10	8/1	20	10	3日	51頭	31名
貨物線の森緑道	8/2	15	5	8/3	20	8	8/4	18	7	3日	53頭	20名
入船公園	8/6	33	4	8/7	3	4	8/23	11	4	3日	47頭	12名
ニツ池	8/18	92	15	8/19	81	10	8/25	55	10	3日	228頭	35名
ニツ池公園	8/13	78	4	8/14	93	10	8/15	64	10	3日	235頭	24名
高田池(ルート1)	8/15	2	3	8/16	4	2	8/17	17	3	3日	23頭	8名
SMS ばいくショップ(ルート1)	8/20	11	3	8/21	12	3	-	-	-	2日	23頭	6名
東横フラワー緑道	8/21	1	3	8/22	1	3	8/23	2	4	3日	4頭	10名
本牧市民公園	8/18	77	3	8/19	27	4	8/20	18	4	3日	122頭	11名
合計	-	433	82	-	358	83	-	309	81	50日	1100頭	246名

活動内容

※このほか、月1回事務局会議を開催、全国トンボ・市民サミット横浜大会準備会議に毎回参加

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13日 第1回拡大運営委員会 会場: 東芝エネルギーシステムズ JFE21世紀財団への前年度報告	9日 東京電力フュエル&パワー横浜火力発電所トンボ調査	トンボとり大作戦 JFEトンボみち、入船公園、長浜公園、富岡総合公園、本牧市民公園 9日~10日 第29回全国トンボ市民サミット茨城県酒沼大会参加 トンボとり大作戦チラシ配布	トンボとり大作戦 JFEトンボみち、入船公園、麒麟ビール横浜工場、長浜公園、富岡総合公園、本牧市民公園、根岸森林公園 6日 JVCケンウッドトンボ池草取り 11日 トンボの見分け方講習会・第2回拡大運営委員会 会場: 横浜市立サイエンスフロンティア高校	本調査・臨海部 7月30日~23日 本調査・内陸部 13日~25日 本調査・南部 18日~20日 トンボとり大作戦 JFEトンボみち、入船公園、麒麟ビール横浜工場、富岡総合公園、長浜公園、本牧市民公園 トンボとり大作戦秋のスペシャルチラシ配布	トンボとり大作戦秋のスペシャル 白幡池公園 1日 ニツ池公園 23日 トンボとり大作戦 JFEトンボみち、入船公園、長浜公園、富岡総合公園、本牧市民公園、根岸森林公園 26日 第3回拡大運営委員会 会場: 神奈川公会堂	トンボとり大作戦 JFEトンボみち、入船公園、長浜公園、富岡総合公園、本牧市民公園 28日 トンボとり大作戦報告会・表彰式 会場: 神奈川地区センター トンボとり大作戦報告会・表彰式 チラシ配布		7日 環境活動の未来を考えるワークショップ開催準備会議 会場: 横浜市役所	20日 市民活動団体座談会 会場: 田園都市生活シェアハウス	1日 環境活動の未来を考えるワークショップ開催準備会議 会場: 横浜市役所	年度活動報告書作成

トンボとり大作戦報告会・表彰式



日時: 2018年10月28日
会場: 神奈川地区センター

毎年恒例の、トンボとり大作戦の報告会・表彰式の一コマ。今年、秋のスペシャルを含む、6月から実施されたトンボとり大作戦でマーキングされたトンボは587頭、再捕獲は32頭。「都市の調査としては膨大な数であり成果と言える」と田口正男先生が活動を総括しました。続く子どもたちの報告では、「ニツ池こどもエコクラブ」の子どもたちが、手づくりのトンボの模型と捕虫網を使って、トンボの種類によって捕り方が違うことを演技を交えて説明。最後の表彰式では、スタンプを集めた7人を表彰しました。他にも、参加者のみなさんが作った標本等を会場に展示し、楽しみながらフォーラムの活動や生きものを知っていただく機会となりました。



8月に実施している本調査は、市民、専門家、企業、行政が協働で行なっています。トンボを捕獲し、翅にマーキングして放し、トンボの行動を追跡することで、地域内に生息している種類や変化、移動範囲や地域の自然環境を調べるものです。2003年に臨海部の企業緑地5箇所から始まった調査でしたが、徐々に調査場所を拡大し、現在